

佐治地域未来プラン(たたき台)

佐治町総合支所

1. 目的位置づけ

佐治地域特有の課題の解決に向け、それぞれ特有の地域資源を活かして、地域振興を図るための未来のプラン。

2. 地域の現況

●位置、地勢について

(例) 鳥取市南部に位置し、面積は79.89平方kmで鳥取市全体の10.4%を占めている。

●土地利用について

(例) ○割が山地、○割が平地となっており、平地では水稻、山地では20世紀梨の栽培が盛んで、・・・

●人口について

⇒ビジョン10ページ、総合支所基礎調査等を参照

- ・人口は、平成16年の合併時は2,821人
令和6年4月1日は1,545人 増減率は△45.2%
- ・世帯数は、平成16年の合併時は〇〇〇世帯
令和6年4月1日は726世帯 増減率は〇〇.〇%
- ・高齢化率は令和6年4月1日現在56.3%

3. 地域の特性・資源

⇒ビジョン82～89ページを参照（文面は最新情報にアップデート）

●地域の歴史

「因幡民談記」の「筆記之部」に記されている資料によると、鎌倉時代や室町時代に佐治谷を支配域として君臨していた土豪尾張氏（佐治氏）を中心として佐治谷のいくつかの村が誕生し、遺跡等も数多く存在します。

このような時代背景から明治22年（1889年）に町村制が施行され、3つの村（口佐治、中佐治、上佐治）が誕生し、明治43年1月1日（1910年）より旧3村は新しく「佐治村」として合併しました。

●地域の特性

①佐治町は、本市の南部に位置し、岡山県と国道482号線によってつながり、岡山県と人の交流や物流がなされることで、本市の重要な南の玄関口となって

います。

②主要産業は、豊かな自然に恵まれ、山地傾斜地を利用した二十世紀梨の栽培や楮、みつまたを主原料とした因州和紙の生産であり、佐治地域ブランドとして全国へ発信しています。

③さじアストロパーク、和紙工房「かみんぐさじ」は、佐治町観光の中心となっており、一度は訪ねてみたい本市の観光拠点として、観光客誘致の一翼を担っています。

④「星」「梨」「和紙」「話」「石」の佐治「5し」を地域資源として活かした地域づくりに取り組んでいます。

「5し」のひとつ「話」は「佐治谷話」と言われ、「愚か話」としてのイメージが強いことから、住民に受け入れられていませんでしたが、残すべき民話として粘り強く保存・伝承に取り組んだ結果、「語り継がれる民話」として生まれ変わり、全国に誇れる「民話」として発信し、地域活性化に貢献しています。

●地域の資源

区 分	主なもの
特産品	二十世紀梨、新甘泉、どぶろく、因州手すき和紙
観 光	さじアストロパーク、和紙工房かみんぐさじ、佐治歴史民俗資料館（「ふるさと歴史館」、「民話の館」、「展示館」）、たんぼり荘、山王滝、山王谷キャンプ場、三国ヶ山、高鉢山、三原台
イベント	佐治ふるさと祭り、さじアストロパークイベント（星祭、月祭、雪祭、クリスマスコンサート）、さじ市（まち協主催）

4. 地域の現状と課題、めざす将来像

⇒ビジョン21～37ページを参照（文面は最新情報にアップデート）

●地域の現状と課題

1—安全・安心な地域づくり 災害に強い佐治町創り

短時間かつ限られた地域での豪雨など、これまでの想定を超える自然災害による被害や、新たな感染症への対応など様々なリスクに対する危機管理体制の強化と、住民一人一人が避難行動計画を立てるマイ・タイムラインや、支え愛

マップの作成支援等、自助・共助・公助による住民と行政が一体となった災害対策を推進します。

消防団佐治地区団の団員の確保が困難になっており、2つの分団の機能維持が難しくなっています。分団を統合するなど再編の検討が必要です。

2 教育環境の充実と郷土愛の醸成

小学校・中学校・保育園と家庭・地域が連携し、地域社会全体で子どもたちを支え見守っていきける体制づくりのため設置された、「千代南中学校区地域支援ネットワーク連絡協議会」及び「佐治小学校地域創造運営協議会」などでの活動を通じて地域の教育力向上に向けた取り組みを推進します。

また、ふるさとの自然や産業、文化の良さを学ぶことによりふるさとへの愛着と誇りを持つことができるなど、地域での特色ある教育活動を推進します。

3 地域医療の確保による保健、医療、福祉の連携強化

県下有数の過疎地域である佐治町にとって、医療の確保は重要です。本市で唯一国民健康保険診療所（医科・歯科）が設置され、医師の派遣を受けています。国保診療所の継続と充実は安全・安心な暮らしの絶対必要条件です。

4 交通の確保

佐治町の主要幹線の国道482号線や市道南岸線をはじめとする道路の危険箇所の改良促進、冬期間の積雪で交通に支障をきたす恐れのある集落の消雪施設の改修とともに、自動車などを運転されない方の移動手段の確保が喫緊の課題です。

5 高齢者社会に向けたまちづくり 買い物環境の確保

中山間地で高齢化の進行が著しい佐治町では、令和4年にトスク佐治店が閉店、令和5年にJASS佐治店、トスク用瀬店が閉店し、買い物や生活交通などの利便性が著しく低下し住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには様々な支援が必要です。買い物の不便な方に対する移動販売事業は町内の第三セクターによって運営されていますが、見守り訪問頻度も週月1回と少なく、仕入先が遠くなるなど新たな課題が発生しています。固定店舗の誘致やスーパーからの注文配送の可能性などさまざまな角度から検討し、佐治町の状況に合致する事業を充実させることが必要です事業の充実が必要です。

また、生活交通の確保では、安心して暮らせる地域交通体系を構築するため、公共交通の維持・検討と地域主体による持続可能な移動手段の導入を図るため、佐治町生活交通会議での事業実施に向けた取り組みを推進します

6 中山間地域の振興

佐治町では、地域の宝である「星」「梨」「和紙」「話」「石」の「五つ」の資源を活かした地域づくりに取り組んでいます。事業の推進母体である「五しの里さじ地域協議会」は田舎暮らし体験や林業体験などによる体験滞在型観光※事業を推進しています。

今後協議会の育成支援、さじアストロパーク」を拠点とした県の星取県事業と連携した事業推進、また、グリーンツーリズム※の拡大、佐治谷話の保存・伝承など地域一丸となった地域振興を推進します。

⑥ 産業振興

〔農林業の振興〕

佐治町の農林業は、高齢化による担い手不足の進行、農産物、木材などの安価な輸入品の増加による競争力の低下などにより不安定な経営状況です。

このため、廃園や耕作放棄地が急激に増加しています。

今後は、意欲ある担い手への農地集積や農作業受託体制の拡充、荒廃地の再生・利活用、新たな特産品の開発が必要です。

また、特産物（梨等）の有利販売※事業（インターネット、プチマルシェ※等）の取組、手作り梨工房をはじめとする各種加工グループの育成・支援、有害鳥獣解体処理施設の整備など過疎地域の活性化を図るため、地域の特色ある資源を活用した産業振興を進めることが重要課題です。

〔和紙産業の振興〕

佐治町の和紙は伝統工芸品として全国で最初に産地指定を受け、地域ブランドとして全国に発信しています。しかし、近年は外国産の和紙等に押され、経営的に不安定な状況にあり後継者の育成も困難になっています。

今後は新たな事業展開など、斬新な取組を行い需要の拡大を図るとともに、後継者の育成やUJIターン※による新たな人材を受け入れ、青谷町と協同で全国級のイベントを開催するなど因州和紙の認知度を高め、和紙の利用拡大に努める必要があります。

7 地域づくりの拠点施設での地域振興

人口減少や高齢化が進行しても安心して佐治町に住み続けられるように地域課題の解決に向けて取り組むNPO法人「さじ未来」が、地域づくりの拠点施設でもある佐治町コミュニティセンターの指定管理を行うことによる施設の適切な管理業務と、地域課題に対応したさまざまな事業を支援していきます。

●めざす将来像について

五つのし（資）源を活かした、「いいさじかげん」のまちづくり

恵まれた自然環境を有する佐治町は、居住の場としてはもとより、農林業の生産の場や体験の場、自立した地域コミュニティを維持するための定住の促進や農林業の生産力の強化、地域の大部分を占める山林や農用地が有する水源かん養*などの機能維持・保全など、多くの重要な地域的使命と役割を担っています。

佐治町の将来像として「5し」の地域資源と地域特性を活かし、地域の伝統や文化、歴史が未来の世代へと引き継がれるよう、地域振興を目的として住民と行政が協働のまちづくりに積極的に取り組み、一人ひとりが健康でいきいきと輝き、自然環境や地域の個性がきらめき、将来においても安全・安心で快適に暮らせるさまざまな生活環境が整ったまちの実現をめざします。

地域振興に資する具体的な取り組みをまとめ、地域振興未来会議で進捗管理する。このプランの実現に向けて、市も一緒になって、取り組んでいく。
※福部・青谷の既存計画は、この位置づけに合致するものであれば、地域プランに読み替え可。